



■令和6年度県総体に向けて一壮行式にてー

体育館やグラウンドに響き渡る歓声、得点やナイスプレーに抱き合っ喜び合う姿、また次第に“あたりまえ”と思い始めている自分があります。皆さんはどうですか？4年前、令和2年度の県総体は新型コロナウイルス感染症のため開催が中止となり、競技によっては代替りの大会が開催されましたが、3年間の練習の成果を発揮する場を得られないまま卒業していった先輩もいました。翌年は無観客開催や声出し応援を自粛しての開催、一昨年も一定の感染症対策のもとでの開催。昨年度、ようやくほぼコロナ前に近づいた大会開催となりました。

3年生の皆さんは、3年前は中学3年生でしたね。中学総体も制限のある中での開催となり、思い切りプレーできず悔しい思いを抱きながら中学卒業を迎えた人がいるかも知れません。そして、その時のことを思い出しながら、今ここに参加していると思います。

卒業した皆さんの先輩も含め、ここ数年三刀屋高校は体育系・文科系の部活動等の活躍がメディアで取り上げられることも多く今県内で最も勢いのある学校といっても過言ではありません。皆さん一人ひとりの活躍は、地元地域にとっても元気を与えています。これまでも「大会開催に尽力してくれた方への、そしてこれまで応援してくれた保護者や地域へ感謝して。地域が元気になるように。」ということばをよく耳にしてきました。その気持ちはもちろん大事なことで、感謝の気持ちは忘れずにもっていてほしいです。しかし、皆さん一人ひとりの存在がすでに地域に元気を与えています。どうか、個人としてもチームとしても、自信をもって大会に臨んでください。そして“今を完全燃焼する”ことに全集中して県総体に向き合ってもらいたいと思います。「思い出に残る大会に」よりも数十年たった時に思い出としてよみがえってくるようひたむきさをもって試合に臨んで欲しい。「今が大事なんだ！」

数十年たった今だんだん思い出してきました。私もこの場にサッカー部の一員として並んでいました。高校3年生の時の県総体では、初戦の益田東高校に2-1で勝利しましたが、2回戦の松江南高校に0-2で敗れました。その時に抱いた悔しい気持ちも徐々に思い出してきました。

壮行式で校長先生が掛けてくださった激励のことばはよく覚えていませんが、応援団の皆さんが応援歌を歌ってくれたことははっきりと覚えています。昔は応援団の方が優しく適切に応援歌練習をしてくださいましたので、今でも脳裏に焼き付いています。応援歌は10番までありますが、今日は、いえ今日も応援歌5番を皆さんに送ります。*壮行式では今年も歌いました。

【三高応援歌 5番『緑かがよう』】 *本来は4番まであります。

1. 緑かがよう 丘を行き
あゝ雲南の 高台に
友愛匂う 我が母校
三高 三高 三高
世紀を担うもの

2. 赤銅の胸 陽を受けて
おおきたえたる その技の
精鋭集う 我が母校
三高 三高 三高
世紀を担うもの

Face yourself. Beyond yourself!

I'm sure you can.